

「論理・表現 II」	単位数	2	学科	〇〇科	学年・学級	第〇学年 〇組～〇組
------------	-----	---	----	-----	-------	------------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、 1. 文脈に合った質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。
使用教科書、副教材など	「NEW FAVORITE English Logic and Expression II Revised」(論 II 002-901) 「NEW FAVORITE English Logic and Expression II Revised WORKBOOK」(東京書籍) 「NEW FAVORITE English Logic and Expression II Revised English Grammar」(東京書籍)

2. 学習指導計画及び評価方法等

学 期	月	単元タイトル (題材)	学習のねらい	考 査 範 囲	評価の観点のポイント		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	Unit 1 Lesson 1 友達に報告する	[題材内容] 日本への留学を友達に報告する場面 [領域] (◎主／○従) ◎話すこと (やり取り) ○書くこと [言語の働き] 訂正する、心配する、感謝する [文法] 現在進行形、完了進行形	第1学期 中間 考 査	[知識] 訂正する、心配する、感謝するときの表現の形・意味・用法を理解している。 [技能] 学んだ知識を用いて、訂正する、心配する、感謝するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。	場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、発言や情報などを訂正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。	自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、発言や情報などを訂正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりするために、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現しようとしている。